

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

記述式 (一部客観式を含む)

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

2025年度は1,858 wordsであり、2026年度は1,867 wordsであった。

出題の特徴や昨年との変更点

- ・1,800語程度の長文1題。例年、医学・生物学に関係のある内容。文体はジャーナリズム的。語義選択、指示語記述、内容真偽、和訳、英問英答、要約問題が出題されているのは例年どおり。医学科と歯学科受験者は大問**3**、**4**、**5**、**6**に、保健衛生学科と口腔保健学科受験者は大問**1**、**2**、**3**、**5**、**6**に答えよという指示が付されている。
- ・要約問題は「400字以内」で安定している。キーワードを3つ盛り込むことが要求されていることも例年どおり。
- ・大学入試では標準的ではない単語が散見されるが、語注が付いていない。
- ・伝統的に**6**の要約問題は、思考力、判断力、表現力を評価する問題になっている。

その他トピックス

The New York Times (2025年7月2日)に掲載された“A plague of pests is coming for California.

Here's how to stop it” (Andrew Zaleski)の記事を一部改変したものからの出題であった。「生物的防除 (biological control / biocontrol) とは何か、それを成功に導くための注意点とは何か」について、この記事の著者が述べていることを、「害虫」「農作物」「宿主域」の3つのキーワードを用いて400字以内でまとめるには、本文全体を的確に把握しつつ、設問の要求に沿って情報を取捨選択する必要がある。そのため、読解と整理に一定の時間を要する問題である。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	読解総合	語義選択	難度の高い単語はなく、標準的な語彙レベル。	標準
2	読解総合	指示語記述	<i>Answer using one to five English words that can replace the underlined word.</i> という指示が付されていることに留意する必要がある。	標準
3	読解総合	内容真偽	本文との緻密な照合が必要となる。 小問数は24問で安定。 5) 選択肢にある <i>by 1889</i> と本文第3パラグラフにある <i>By the end of 1889</i> が同意表現とみなせるかの判断が難しい。	標準
4	読解総合	英問英答	<i>in your own words</i> という指示があるので、キーワードは可能な限り言い換えをするほうが望ましい。複数の情報を統合する力が求められているので、10語から25語という指定語数で解答を書くのに苦労する。 2020年度以来 <i>summarize</i> の問いが1つは出題されたが、2024年度ではその問いが姿を消した。2025年度に次いで2026年度も複数情報をまとめる力が要求されているため、全問にわたり答え方に工夫が必要。	やや難
5	読解総合	英文和訳	標準的なレベルの問題なので、失点は避けたい。 (ア) <i>excuse, efforts, clumsily or incompetently</i> の訳出に工夫が必要。 (イ) 接続詞 <i>And</i> の訳出に注意。 <i>There's no doing</i> が <i>made it possible to do</i> と対比関係を成している点を踏まえて接続詞 <i>while</i> の訳語選択に注意。 <i>turning back the clock on globalization</i> の訳出と、 <i>it</i> が <i>globalization</i> を指し、無生物主語構文である点を理解したうえで、自然な日本語に訳出する。 <i>address</i> の訳語選択にも注意が必要。	標準
6	読解総合	要約	字数内に収めるのに工夫が必要。「生物的防除 (<i>biological control / biocontrol</i>) とは何か、それを成功に導くための注意点とは何か」に焦点をあて、複数の情報を取捨選択して解答をまとめる力が求められている。	やや難

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

The New York Times などの新聞を読み、ジャーナリズム的な文体に慣れておくことが重要である。また、*Scientific American*、*Science*、*BBC*、*CNN* など英米の雑誌・メディアに掲載される論文や記事にも日頃から触れ、内容の構成や論調に慣れておきたい。これらには、世間で常識とされている事柄に疑問を投げかける論調のものが多く、それを読み解くには確かな語彙力と文法・構文力が求められる。内容真偽問題や英文和訳問題では失点を避けたいところであり、合否を分ける最大のポイントは、長文を最後まで正確に読み、要約文をきちんと書きさけるかどうかである。長い英文を読む際には、時間と字数を意識しつつ、設問が要求する論点に絞ってまとめる練習が必要だ。その際、パラグラフごとに簡単なコメントを付しておく、内容整理がしやすくなり、内容真偽問題の検討にも役立つ。さらに、英問英答で適切な解答を自分の英語で書けるよう、日頃から表現の言い換えに注意し、英語表現力を高めておくことが望ましい。